【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【公開番号】特開2008-303500(P2008-303500A)
【公開日】平成20年12月18日(2008.12.18)
【年通号数】公開・登録公報2008-050
【出願番号】特願2007-151794(P2007-151794)
【国際特許分類】
Ｄ０１Ｆ　6/18　(2006.01)
Ｄ０１Ｆ　6/54　(2006.01)
Ｄ０１Ｆ　9/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０１Ｆ　6/18　Ｅ
Ｄ０１Ｆ　6/54　Ｄ
Ｄ０１Ｆ　9/22

【手続補正書】
【提出日】平成22年6月7日(2010.6.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
カルボキシ基を含まないアクリロニトリル系重合体（Ａ）と、カルボキシ基を含む重合体（Ｂ）と、溶媒とを、ニーダーで混合したのち加熱溶解して、アクリロニトリル系重合体溶液を調整して紡糸する炭素繊維前駆体アクリロニトリル系繊維の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
上記課題を解決する本発明の炭素繊維前駆体アクリロニトリル系繊維の製造方法は、カルボキシ基を含まないアクリロニトリル系重合体（Ａ）と、カルボキシ基を含む重合体（Ｂ）と、溶媒とを、ニーダーで混合したのち加熱溶解して、アクリロニトリル系重合体溶液を調整して紡糸することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明によれば、生産性や、組成設計の自由度が高く、高性能の炭素繊維を製造するのに好適な炭素繊維前駆体アクリロニトリル系繊維の製造方法を提供できる。